



聴覚に障害のある子どもへの指導・支援

人工内耳のきこえや 注意点、起きやすいトラブルについて

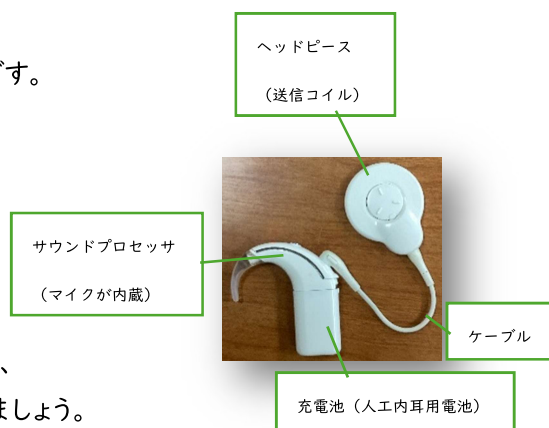


人工内耳のきこえについて

- ・人工内耳からの音は、30～40 dBで聴取できるようマッピングされています。(ささやき声のレベル)
- ・人工内耳を使用することで、「1対1」の日常会話が可能になります。
- ・人工内耳からの音は「金属が鳴っているような音」「ロボットがしゃべっているような音」と表現する方もいます。
- ・人工内耳の音は、音の高低がきき分けにくいようです。そのため音楽や歌唱が音程をとらえて歌うことや、演奏が苦手な方が多いです。
- ・多人数との同時の会話や、騒音下での会話は難しいことが多いです。
- ・後方からや作業中に話しかけてもうまくきき取れません。
- ・離れた所の声や、小さな声・早口のきき取りは困難です。

人工内耳をする上での注意点

- ※インプラント(体内装置)に衝撃が伝わる可能性のあるスポーツは、
避けたほうが良いケースもあります。周囲の人にも理解してもらいましょう。
(例) 柔道、剣道、サッカー(ヘディング)、ダイビング等
- ※マット運動、鉄棒などは、ヘッドピース(送信コイル)が外れやすくなるので、
事前に外し、ケースなどに入れて管理しましょう。



人工内耳の起きやすい故障、トラブルの例

(1) ランプの点滅、ケーブルが切れる、音が変わる・きこえる。

速やかにメーカー、担当医師、担当 ST に相談しましょう。

(2) 人工内耳は充電電池、または 人工内耳用電池で動いています。

電池が切れた場合、音はきこえなくなりますので、
予備電池の取り換えを準備しておきましょう。

(3) 汗や水に弱いです。

対策1: 汗をかいた後は、耳の後ろの汗をふきましょう。

人工内耳についた汗を乾いた布でふき、あわせて電池もふくとよいです。

対策2: 使わない時は、バッテリーや電池を外し乾燥ケースに入れて保管しましょう。



(4) 静電気

静電気によってシステムに影響が出ることがあります。静電気を逃すための工夫が必要です。